

北海道読書推進運動協議会

北読進協だより

第33号



読み聞かせグループ「子ども達に自作の紙芝居を見てもらう会」(北見市)

- 平成30年度優良読書グループ特集 -

全国表彰

主催：公益社団法人読書推進運動協議会

北海道表彰

主催：北海道読書推進運動協議会

— はじめに —

公益社団法人読書推進運動協議会は、読書推進団体の草分けで、昭和 43 年から「読書週間」に合わせた「優良読書グループ表彰」（全国表彰）を主催して各都道府県から 1 グループずつ表彰しています。

北海道読書推進運動協議会では、この全国表彰への推薦団体の選考に合わせて、昭和 62 年度から、地域で活躍する読書グループを会独自に表彰する「北海道表彰」を実施しており、昨年度新設した奨励賞 1 グループを含めた 6 グループを表彰しました。

本号では、受賞グループの寄稿文を紹介します。

＜過去 3 年間に表彰を受けた読書グループ＞

年度	表 彰	管 内	市町村名	受賞グループ名
H30	全 国	十勝	池田町	読み聞かせサークル「E 本よもう！どらねこ倶楽部」
	北海道(本賞)	後志	仁木町	仁木町読書サークル兎の眼
		胆振	苫小牧市	にじのはし
		渡島	八雲町	童話サークル ぴいたあ★ぱん
		オホーツク	北見市	読み聞かせグループ「子ども達に自作の紙芝居を見てもらう会」
		十勝	広尾町	サンタのほけっと
	北海道(奨励賞)	石狩	江別市	みーとほん
H29	全 国	空知	南幌町	南幌町読み聞かせサークル
	北海道(本賞)	後志	岩内町	ブックスタートをサポートする会
		上川	比布町	絵本の読み聞かせ会ひろがり文庫
		上川	上富良野町	ふらの・ものがたり文化の会
		オホーツク	斜里町	朗読サークル気のいいアヒル
	十勝	広尾町	ベビーサンタの会	
北海道(奨励賞)	檜山	奥尻町	おはなしの会うみいろ	
H28	全 国	留萌	羽幌町	あざらしおはなし会
	北海道	胆振	安平町	ブックスタート読み聞かせボランティア赤ずきん
		上川	名寄市	名寄本読み聞かせ会
		上川	上富良野町	読みきかせ会ムーミン
		オホーツク	斜里町	おはなししやぼん玉
		十勝	足寄町	絵本の会はらっぱ

※活動を長く活発に継続していただくための立ちあがり支援になることから、新たに自主的・積極的な活動を行い、今後の活発な活動が期待される、活動歴が 5 年未満の優良読書グループを表彰する「北海道表彰 奨励賞」を平成 29 年度より新設しました。

全国表彰（主催：公益社団法人読書推進運動協議会）

読み聞かせサークル 「E本よもう！どらねこ倶楽部」

十勝管内 池田町

<団体の概要>

設立年 平成 13 年 会員数 10 名

代表者 杉山知子 平成 20 年度北海道表彰受賞

【グループの始まり】

児童書好きが集まり、本の魅力を語るうちに「読み聞かせをやろう。」「グループをつくろう。」と平成 13 年に結成したのが“どらねこ”です。

【活動の内容】

- 子育て支援センター、保育所、小学校、高齢者施設の定期的読み聞かせ
- 図書館祭り、ブックスタートなどへの協力
- 活動報告、本の紹介などの『どらねこ新聞』の発行
- 朗読会、公演などの企画
- ブックトークを兼ねた出前講演
- 月 1 回の E 本会議（enjoy,easy,eat の E）

【これから】

全国表彰に驚き喜びと共に、部員一同身の引き締まる思いでいます。

児童書には宝がいっぱいです。

子どもにとっては勇気の基となり、大人にとっては忘れてきた大切なものを発見することができます。

児童書の中の子どもたち、読み聞かせに参加してくれる子どもたちに導かれ、力をもらいながら、その力を還元できるようにしていきたいです。

ボランティア活動ではありますが、専門的な勉強もしながら、子ども心を忘れず、マイペースで仲間と楽しく、活動を続けていきたいと思っています。



北海道表彰本賞

仁木町読書サークル兔の眼

後志管内 仁木町

<団体の概要>

設立年 昭和57年 会員数 7名
代表者 笠井八州子

【グループの始まり】

子どもに手がかからなくなって、子どものクラスのお母さんたちに呼びかけて、各自の蔵書のリストを作り、数人で貸し借りをして読んでいたところ、下の学年のお母さんと養護教諭が読書サークルを作ろうと呼びかけてくださり、集まった12名で始めました。

【活動の内容】

- 忙しい農家の主婦が大半でしたので、月に1回、夜7時から集まり、道立図書館の集団読書貸出文庫を利用し、その本の感想を話し合いました。同じ本を読んだことで話は弾み、あっという間に時間が過ぎてしまう楽しいひと時を過ごしてきました。
- 毎年1回、文学散歩等の折々の講座をチラシで町内にご案内し、40~50人程の参加をいただいたこともありました。
- 子どもたちのため、初めて映写機を動かし映画を上映したこともあり、親子や大勢の子どもたちに見てもらいました。
- その他にも放課後児童クラブでの読み聞かせ、図書室の選書や貸出業務の手伝い、児童養護施設への慰問、例会後に行う図書室の図書整理、教育委員会が実施しているブックスタート事業への協力等の活動をしています。



【これから】

結成から37年が経ち、ほとんどの会員が80歳以上となりました。長い期間、同じメンバーで続けてまいりましたが転勤や転居、病で倒れる等の変化もあり、現在は7名となりましたが、「皆、頑張りうね」と話しているところです。

仁木町は農業の町で、その中でも若い世代の人は忙しく、読書活動よりもスポーツを好んでいるように感じています。読書活動が盛んになるよう今後も小中学校の校長先生や教育委員会の職員の方にお会いしたときに相談していきたいと思っています。

北海道表彰本賞

にじのはし

胆振管内 苫小牧市

<団体の概要>

設立年 平成 15 年 会員数 9 名
代表者 久保田真知子

【グループの始まり】

中央図書館の“絵本のよみきかせボランティア募集”にて集まった 6 人が、講習後、平成 15 年 4 月に“にじのはし”を設立。読み聞かせの始まりです。

【活動の内容】

- 中央図書館の“おはなしコーナー”において、男性 4 名、女性 5 名が月 3 回（土曜日）、絵本、紙芝居等の読み聞かせをしています。（1 人、月に 1 回の活動）
- 図書館主催によるイベント（青空図書館、おはなし玉手箱、看護学校への読み聞かせ）に協力・参加（各年 1 回）
- 他の施設にての“大人に向けての絵本のよみきかせ”に参加（年 4 回）

【これから】

中央図書館を足場に、地道に“絵本の読みきかせ”活動をして来た私たちに、“優良読書グループ北海道本賞”が与えられたこと、とても嬉しく、励みになります。

仲間が様々な理由で退会していく中で、会の存続という事が、常に悩みでした。この機会に少しでも、活動に興味を示し、仲間入りしてくれる事を切に願います。

一冊でも多くの“自分のお気に入り絵本”に出逢えますように！という思いで、これからも様々な本を読み続け、紹介していきたいです！



北海道表彰本賞

童話サークルぴいたあ★ぱん

渡島管内 八雲町

<団体の概要>

設立年 昭和50年 会員数 10名

代表者 永井正江

【グループの始まり】

童話や絵本、昔話などの面白さに触れ、読書好きの子どもたちを育てたいと、当初図書館司書の呼びかけで3名でスタートし、昭和50年に童話サークル「ピーターパン」が生まれました。その後ひらがなの「ぴいたあ★ぱん」と改称し、現在は10名の会員で活動しています。



【活動の内容】

- 毎月第3土曜日、八雲町立図書館の定例行事として、「おたのしみどうわの日」で絵本や紙芝居の読み聞かせや、ストーリーテリングなどを行っています。
- 町内の小学校・養護学校・幼稚園・保育園への出張読み聞かせを行っています。
- 放課後支援わくわく教室・学童保育所・その他地域のイベントに読み聞かせという形で協力しています。
- 子育て支援サークルでは赤ちゃん向け、デイサービスでは高齢者向けに、依頼された対象に応じて読み聞かせを行っています。
- 読み聞かせの内容は絵本や紙芝居だけでなく、手遊び、ストーリーテリング、室内でできるゲームなど。パネルシアターやエプロンシアターも、市販のものだけでなく、サークルメンバーが作製し、少しずつメニューを増やしています。



【これから】

平成15年度八雲町教育功績者として表彰され、今回は優良読書グループとして北海道表彰をしていただき、会員一同大変嬉しく光栄に思っております。

継続は力なりと申します。設立は昭和50年、今年までサークルが続いたのも、発足で尽力していただいた先輩たちと、折々のメンバーの努力のたまものです。

私たちは子どもたちから元気ももらって、ボランティアを続けてきました。

現在個々の事情で行事に参加できないメンバーもおりますが、それぞれが自分のできることで協力し合い、活動しております。今後も43年間続いた活動を途切れさせることなく、子どもたちと「育ち合い」ながら、活動していきたいと思っております。

北海道表彰本賞

読み聞かせグループ

「子ども達に自作の紙芝居を見てもらう会」

オホーツク管内 北見市

<団体の概要>

設立年 平成元年 会員数 12名
代表者 小林正

【グループの始まり】

教職を退職した会長の呼びかけに、現役教師・教え子の母親、女性市民が応えスタート。病弱だった兄が招集され、戦死した会長はじめ、会員は戦前・戦後の苦難の体験から、紙芝居を通し平和の大切さを…と活動を開始しました。会の名前は上記の通りに。



【活動の内容】

- この頃、「かわいそうなぞう」が教科書から消えたことに心が痛んでいたため、自作ではないが是非、子どもたちに知ってほしいと製作。
- 「私達が子どもだったころ」では、昔の生活や遊びの作品（総合学習の時間があつた頃には昔の遊び、四季の行事のこと等々）を小学校で実技で楽しみました。
- 数校の小学校では「私が子どもだったころ」の作品を高学年の社会科の時間に。
- その他、作品が増え、活動の場が広がっています。
- 入院患者さん訪問では頭の体操のクイズや「ふるさと」の歌も一緒に楽しんでいます。
- 子育て支援センターへはオリジナルではないが「ちょっとだけ」が親子さんからのリクエストで好評でした。手遊びも楽しいです。

【これから】

オリジナル作品は、お母さんのお腹の中でのことを子どもさんが聞いていたという「ぼく、泳いでいたよ」をはじめ14作も含め、60作品を「紙芝居フェスティバル」や、終戦の日の頃開催している「がいとう紙芝居」、地域のセンターでの「紙芝居をみる集い」等々でこれからも見てもらい、喜んでもらいたいと思います。

あわせて、毎月第2土曜日の例会、そして、例会前の30分を「お話しの部屋」へ集ってくれる親子さんたちと紙芝居や、絵本、クイズ、その他も楽しく続けていきたいと思えます。

例会ではレジメを用意して、欠席をした場合でも分かるように前月の例会での報告と、本日の予定を。会長は90歳、他の会員も30年を経た今、高齢者がほとんどですが…さて？

北海道表彰本賞

サンタのぽけっと

十勝管内 広尾町

<団体の概要>

設立年 平成 15 年 会員数 7 名

代表者 加藤麻衣

【グループの始まり】

絵本や紙芝居の読み聞かせを通して読書の芽を育むため、平成 15 年度から読み聞かせボランティアとして有志が参加し、会を発足しました。

メンバーの転入転出等で会員の増減がありますが、月に 1 度のおはなし会などを通じて幼児期から絵本の関心を深め、親子間のコミュニケーションを促す活動を行っています。

【活動の内容】

- 絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、わらべうた、月替わりで工作や折り紙、エプロンシアターなどのおたのしみを行っています。(月 1 回)
- 各月毎に当番を決め、当番会員がおはなし会の図書の選書や題材の選定、当日の準備及び進行を分担する方法をとっています。
- 平成 20 年度から「えいごで絵本をたのしもう！」を実施
英語の絵本や会話などを通じて幼児期から英語と触れ合える機会を設けています。
- 平成 25 年度から、図書館職員で実施していた「土曜おはなし会」に協力
「土曜おはなし会スペシャル」の際には、演目内容を相談しながら行っています。
- 年中行事等に合わせた壁面かざりの協力
- 絵本作家講演会開催時の協力
- 図書館まつり等へ他のサークルと連携協力及び参加

【これから】

この度は北海道表彰をいただき、大変光栄に思っています。

親子の笑顔に活力をもらっています。これからも絵本を通じて親子の絆が深まることを期待し、図書館と連携して活動していきたいと考えています。



北海道表彰奨励賞

みーとほん

石狩管内 江別市

<団体の概要>

設立年 平成 29 年 会員数 4 名
代表者 畠山真理

【グループの始まり】

平成 27 年 12 月から月 1 回のペースで開催されている大麻銀座商店街ブックストリートは、「本」をテーマとしたイベントですが、絵本・児童書が会場に並ぶことがほとんどなく、子どもたちにとっては楽しみが少ないイベントでした。そこで、遊びに来た子どもたちにも「本」との出会いを楽しんでもらおうと、本グループを発足させました。現在は、絵本の広場として大麻銀座商店街ブックストリート及び大麻銀座商店街と連携して活動を行っています。

【活動の内容】

- 発足以来、大麻銀座商店街ブックストリート及び大麻銀座商店街、江別市情報図書館にご協力いただき、月 1 回のペースで「絵本の広場」を開催しています。

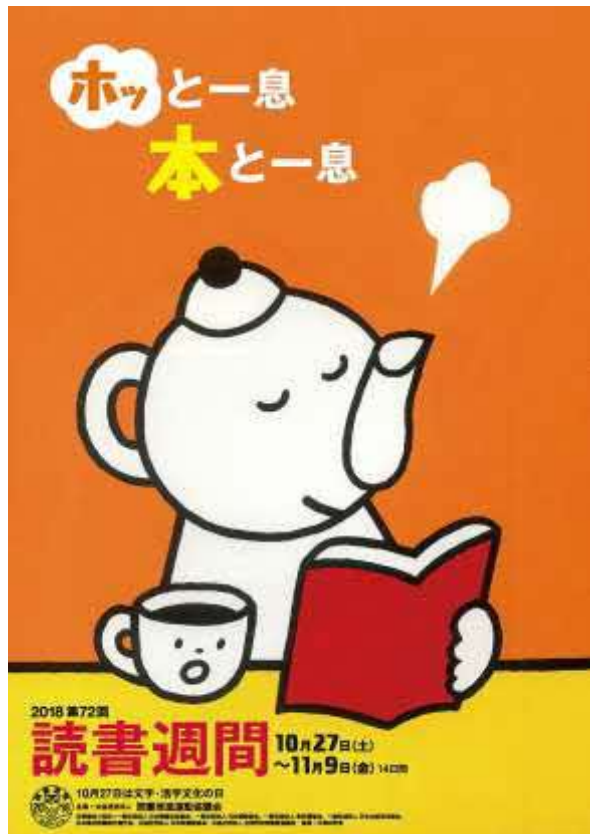
「絵本の広場」の主な活動は以下の通り。

- 毎月テーマにそった絵本の展示・自由読書コーナーの設置
- 来場者の年齢に合わせた絵本の読み聞かせ
- 折り紙などを中心としたワークショップを開催
- その他にも、特別企画として他の読み聞かせ団体との連携し開催した「絵本の選び方講座」や、商店街からご協力いただき、ハロウィンやクリスマスのイベントを開催しています。



【これから】

この度、表彰されましたことに驚きと共に感銘をうけています。発足以来、徐々に口コミなどで来場される親子の方などが増え、楽しみにしてくださる方も増えてきました。開催場所が地域の商店街ということで、子どもたちが喜ぶ場をつくることで、より地域が活性化し、子ども達の居場所として「絵本の広場」を開催していけるように今後も邁進していきたいと思えます。



北読進協だより 第33号

発行年月日 平成30年12月26日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町4-1番地

北海道立図書館総務企画部企画支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

「北読進協（ほくどくしんきょう）」は、公益社団法人読書推進運動協議会発足の翌年の昭和35年に発足した、全道の読書普及に努めることを目的とする団体です。

構成団体（平成30年12月1日現在、以下10団体）

- 北海道図書館振興協議会
- 北海道PTA連合会
- 北海道学校図書館協会
- 北海道女性団体連絡協議会
- (一社)北海道ブックシェアリング
- 北海道書店商業組合
- (株)北海道新聞社
- (株)毎日新聞北海道支社
- 北海道出版取次協会
- (公財)北海道青少年育成協会